

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

令和元年5月21日

理事長 清野 智

訪日外客数(2019年4月推計値)

◇ 4月 : 前年同月比0.9%増の292万7千人

- 2019年4月の訪日外客数は、前年同月比0.9%増の292万7千人。2018年4月の290万1千人を約3万人上回り、単月として過去最高を記録した(これまでの過去最高は2018年4月の290万1千人)。また、4月までの累計は1,098万1千人となり、1,000万人を超えた。
- 昨年は3月末であったイースター休暇が今年は4月となり、欧米豪市場を中心に影響を受けたことに加え、桜鑑賞等を目的に訪日需要が高まる春に向けて各市場で展開した訪日旅行プロモーションの効果もあり、訪日者数は前年同月を上回った。一方で、日本のゴールデンウィークが10連休となり訪日旅行商品の高騰、日本国内観光地の混雑等を理由として訪日旅行者数が多い東アジア市場を中心に訪日需要が抑えられたことから、訪日外客数全体の伸びは鈍化した。
- 市場別では、タイ、フィリピン、ベトナム、インド、カナダ、英国、フランス、イタリア、ロシアで単月として過去最高を記録したほか、中国、豪州、米国、ドイツ、スペインで4月として過去最高を記録した。
- 昨今の世界情勢や旅行先の多様化などを背景に、訪日旅行市場を取り巻く環境は日々変化している。今後も市場動向を綿密に分析しながら、訪日旅行プロモーションを進めていく。

* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客数の動向」内からダウンロードできます。

https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html

「月別推計値(Excel)」、「国籍/月別 訪日外客数(2003年~2019年)(PDF・Excel)」

* 最新の市場動向トピックス

https://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/report.html

※3・4月のトピックスは5月末頃に掲載予定

お問い合わせ先：
企画総室 調査・マーケティング統括グループ
TEL : 03-6691-0939

2019年 訪日外客数・出国日本人数

2019 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)
Japan National Tourism Organization(JNTO)

2019年5月21日
21/May/2019

(単位: 人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2018	2019	伸率 Change %	2018	2019	伸率 Change %
1 Jan.	2,501,409 (2,171,045)	2,689,339 (2,345,029)	7.5 (8.0)	1,423,727	1,452,157	2.0
2 Feb.	2,509,297 (2,280,872)	2,604,322 (2,341,479)	3.8 (2.7)	1,390,518	1,534,792	10.4
3 Mar.	2,607,956 (2,283,596)	*2,760,100	*5.8	1,807,063	1,929,916	6.8
4 Apr.	2,900,718 (2,603,797)	*2,926,700	*0.9	1,356,679	*1,666,500	*22.8
5 May	2,675,052 (2,391,395)			1,383,847		
6 Jun.	2,704,631 (2,454,154)			1,421,649		
7 Jul.	2,832,040 (2,564,205)			1,557,980		
8 Aug.	2,578,021 (2,295,775)			2,033,435		
9 Sep.	2,159,595 (1,836,045)			1,630,088		
10 Oct.	2,640,610 (2,310,354)			1,646,230		
11 Nov.	2,450,751 (2,162,583)			1,673,465		
12 Dec.	2,631,776 (2,412,291)			1,629,350		
1~4 Jan.-Apr.	10,519,380 (9,339,310)	*10,980,500	*4.4	5,977,987	*6,583,400	*10.1
1~12 Jan.-Dec.	31,191,856 (27,766,112)			18,954,031		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. Provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2019年4月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for Apr. 2019 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2018年 4月	2019年 4月	伸率(%)	2018年 1月～4月	2019年 1月～4月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,900,718	2,926,700	0.9	10,519,380	10,980,500	4.4
韓国	South Korea	638,523	566,600	-11.3	2,769,853	2,647,400	-4.4
中国	China	683,377	726,100	6.3	2,626,934	2,895,400	10.2
台湾	Taiwan	470,042	403,500	-14.2	1,608,760	1,593,200	-1.0
香港	Hong Kong	179,930	194,800	8.3	714,583	699,800	-2.1
タイ	Thailand	148,647	164,800	10.9	429,469	512,700	19.4
シンガポール	Singapore	37,605	36,700	-2.4	120,359	129,200	7.3
マレーシア	Malaysia	49,212	46,100	-6.3	163,295	164,800	0.9
インドネシア	Indonesia	43,103	39,800	-7.7	126,504	136,500	7.9
フィリピン	Philippines	63,893	69,300	8.5	179,201	188,800	5.4
ベトナム	Vietnam	50,299	55,300	9.9	136,603	178,000	30.3
インド	India	17,713	18,400	3.9	50,752	57,700	13.7
豪州	Australia	57,432	70,500	22.8	219,994	243,400	10.6
米国	U.S.A.	147,028	170,200	15.8	471,930	542,700	15.0
カナダ	Canada	34,255	38,900	13.6	110,443	123,100	11.5
英国	United Kingdom	36,185	44,500	23.0	116,388	128,200	10.1
フランス	France	44,047	46,000	4.4	100,233	108,100	7.8
ドイツ	Germany	22,112	27,800	25.7	71,305	81,200	13.9
イタリア	Italy	17,762	24,100	35.7	43,339	51,000	17.7
ロシア	Russia	12,375	13,800	11.5	31,917	37,400	17.2
スペイン	Spain	9,207	13,900	51.0	29,071	31,700	9.0
その他	Others	137,971	155,600	12.8	398,447	430,200	8.0

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：訪日外客数(訪日外国人旅行者数)は、法務省の出入国管理統計からJNTOが独自に算出した数値である。

◆注3：2018年の数値は暫定値、2019年の数値は推計値である。

◆注4：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

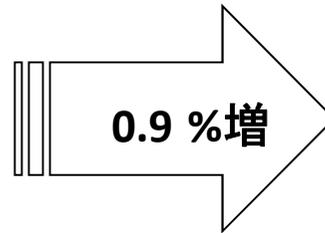
◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice).

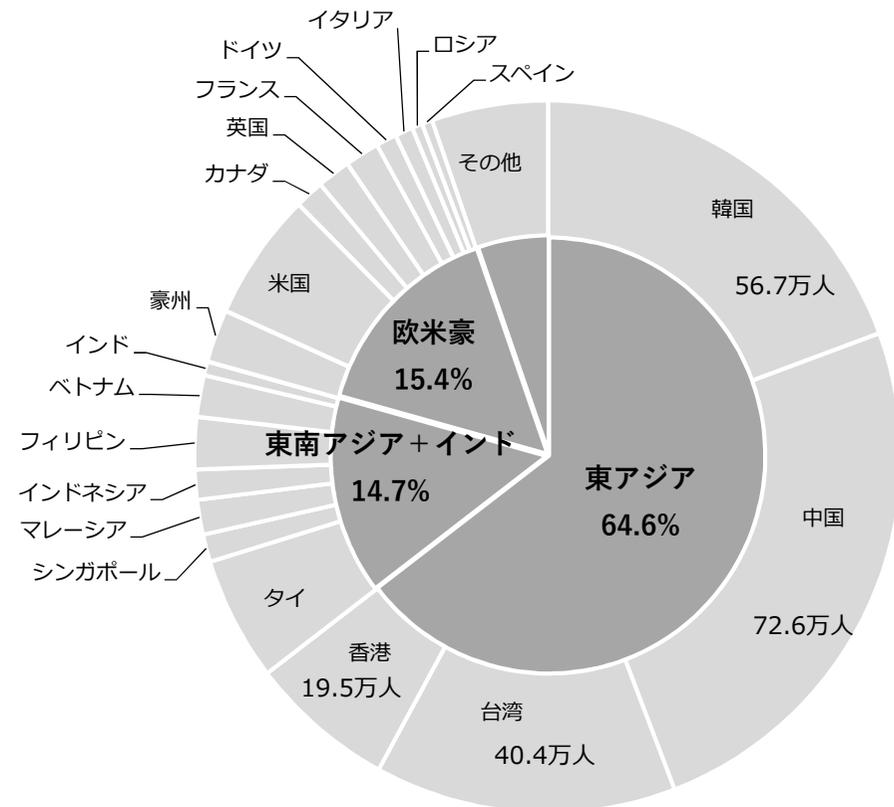
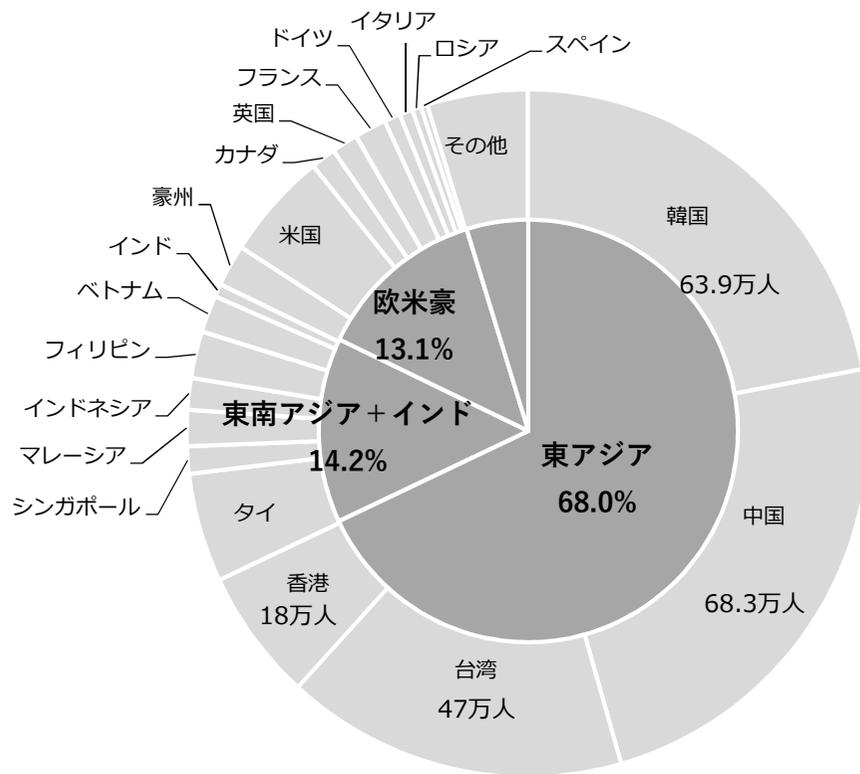
◆Note 3. Above figures for 2018 are provisional, while figures for 2019 are the preliminary ones estimated by JNTO.

訪日外客数のシェアの比較 2018年/2019年

2018年4月
290万1千人



2019年4月
292万7千人



地域別訪日旅行市場の概況

1. アジア

① 東アジア

- **韓国**は、前年同月比 11.3%減の 566,600 人であった。航空座席供給量は増加したものの、韓中関係の改善による中国への渡航需要の回復やベトナムが人気になるなど、海外渡航先が多様化していることに加え、日本のゴールデンウィークの影響や韓国経済の低迷等もあり、訪日者数は前年同月を下回った。
- **中国**は、前年同月比 6.3%増の 726,100 人で、4 月として過去最高を記録。日本のゴールデンウィークの影響による訪日旅行商品の価格高騰が一部見られたものの、旺盛な訪日需要を新規就航や増便による航空座席供給量の増加が後押しし、訪日者数は前年同月を上回った。
- **台湾**は、前年同月比 14.2%減の 403,500 人であった。地方への新規就航や増便、チャーター便の運航による航空座席供給量の増加があったものの、昨年は 5 連休であった清明節休暇が今年は 4 連休となり旅行需要が抑えられたことと、日本のゴールデンウィークの影響もあり、訪日者数は前年同月を下回った。
- **香港**は、前年同月比 8.3%増の 194,800 人であった。日本のゴールデンウィークの影響があったものの、昨年は 3 月末からであったイースター休暇が今年は 4 月後半からとなったことの影響に加え、地方への新規就航による航空座席供給量の増加もあり、訪日者数は前年同月を上回った。

② 東南アジア

- **タイ**は、前年同月比 10.9%増の 164,800 人で、単月として過去最高を記録。日本のゴールデンウィークの影響があったものの、新規就航や増便により航空座席供給量が前年同月と比較して大きく増加したことに加え、旅行博での PR や、春コンテンツ、北海道等の情報発信・広告宣伝等の訪日旅行プロモーションもあり、訪日者数は前年同月を上回った。
- **シンガポール**は、前年同月比 2.4%減の 36,700 人であった。増便や機材の大型化による航空座席供給量の増加があったものの、日本のゴールデンウィークの影響もあり、訪日者数は前年同月を下回った。
- **マレーシア**は、前年同月比 6.3%減の 46,100 人であった。地方便や経路便を含む新規就航や増便による航空座席供給量の増加があったものの、日本のゴールデンウィークの影響もあり、訪日者数は前年同月を下回った。
- **インドネシア**は、前年同月比 7.7%減の 39,800 人であった。旅行博等での訪日旅行商品の販

売やプロモーション効果はあったものの、大統領選挙前の旅行需要が抑えられたこと等の影響を受け、訪日者数は前年同月を下回った。

- フィリピンは、前年同月比 8.5%増の 69,300 人で、単月として過去最高を記録。昨年は 3 月末からであったイースター休暇が今年は 4 月後半からとなったことの影響に加え、イースター休暇と学校休暇が重なり旅行需要が高まったこと、新規就航や増便による航空座席供給量の増加もあり、訪日者数は前年同月を上回った。
- ベトナムは、前年同月比 9.9%増の 55,300 人で、単月として過去最高を記録。桜鑑賞を目的とした旅行商品の販売や連休を利用した観光需要の増加に加え、新規就航や増便、チャーター便の運航による航空座席供給量の増加もあり、訪日者数は前年同月を上回った。
- インドは、前年同月比 3.9%増の 18,400 人で、単月として過去最高を記録。日本のゴールデンウィークやインドの総選挙の影響があったものの、桜シーズンの訪日需要の高まりを、当該時期の需要獲得を目的としたムンバイ空港での屋外広告やデジタルを活用した情報発信等の訪日旅行プロモーション及び旅行博・商談会事業が下支えし、訪日者数は前年同月を上回った。

2. 豪州、北米

- 豪州は、前年同月比 22.8%増の 70,500 人で、4 月として過去最高を記録。継続的に展開してきた訪日旅行プロモーションや、業界メディア等による日本の露出機会の増加による訪日旅行機運の高まりに加え、航空座席供給量の増加や、昨年は 3 月末からであったイースター休暇が今年は 4 月後半からとなったことの影響、好調な訪日クルーズ需要もあり、訪日者数は好調な伸びを記録した。
- 米国は、前年同月比 15.8%増の 170,200 人で、4 月として過去最高を記録。メディアへの情報提供、支援等の取り組みによる日本関連記事の露出の増加に加え、増便による航空座席供給量の増加と増便に合わせて展開した航空会社との共同広告の効果、昨年は 3 月末からであったイースター休暇が今年は 4 月後半からとなったことの影響、好調な訪日クルーズ需要もあり、訪日者数は好調に推移した。
- カナダは、前年同月比 13.6%増の 38,900 人で、単月として過去最高を記録。航空会社による早期予約キャンペーンの効果や好調な訪日クルーズ需要に加え、桜シーズンの訪日需要の高まりや、昨年は 3 月末からであったイースター休暇が今年は 4 月後半からとなったことの影響もあり、訪日者数は好調に推移した。

3. 欧州

- 英国は、前年同月比 23.0%増の 44,500 人で、単月として過去最高を記録。継続的に展開してきた訪日旅行プロモーションの効果に加え、昨年は 3 月末からであったイースター休暇が今

年は4月後半からとなったことの影響や訪日クルーズ需要の大幅な増加もあり、訪日者数は好調な伸びを記録した。

- フランスは、前年同月比 4.4%増の 46,000 人で、単月として過去最高を記録。継続的に展開している航空会社との共同広告、メディア招請や複数の日本関連イベントの開催により日本の露出が増えたことに加え、増便による航空座席供給量の増加や個人消費が持ち直しつつあることなどもあり、訪日者数は堅調に推移した。
- ドイツは、前年同月比 25.7%増の 27,800 人で、4月として過去最高を記録。ドイツ経済が減速傾向にある中、グローバルキャンペーンの実施による日本への関心・認知度の高まりに加え、昨年は3月末からであったイースター休暇が今年は4月後半からとなったことの影響やクルーズ船の寄港などもあり、訪日者数は好調な伸びを記録した。
- イタリアは、前年同月比 35.7%増の 24,100 人で、単月として過去最高を記録。訪日旅行需要の高まる4月にイースターと他の祝日が重なり連休を取りやすくなったことに加え、航空会社との共同キャンペーンによる日本への関心・認知度の高まりや、日本への経由便となる航空会社の座席供給量の増加もあり、訪日者数は好調な伸びを記録した。
- ロシアは、前年同月比 11.5%増の 13,800 人で、単月として過去最高を記録。航空路線の大幅な増便や機材大型化等による航空座席供給量の増加に加え、モスクワの大型商談会等への出展やセミナー開催など、継続的に展開してきた訪日旅行プロモーションが訪日意欲を喚起し、訪日者数は堅調に推移した。
- スペインは、前年同月比 51.0%増の 13,900 人で、4月として過去最高を記録。継続的に展開している訪日旅行プロモーションにより旅行先としての日本への関心・認知度が高まっていることに加え、昨年は3月末からであったイースター休暇が今年は4月後半からとなったことの影響により、訪日者数は好調な伸びを記録した。